

飛躍 part 3



2024年（令和6年）

4月22日（月）

第145号

「3年生になって」作文ノートより —PART4—

○私は今まで「これをする！！」と決めても、全部中途半端なところで終わってしまいました。でも行きたい高校が見つかったので、最後までやり遂げて合格したいなと思いました。そのために、今までよりも真面目に授業を受けようと思いました。今はまだ、内申もテストの点数も合格ラインに達していないと思うので、上げられるように頑張りたいです。学校と塾を両立できるようにしたいです。宿題を余裕を持って出来るようにしたいです。

入試だけでなく、修学旅行や体育大会、文化発表会などの行事も頑張りたいと思いました。特に文化発表会を頑張りたいなと思いました、私は技術・家庭科部なので、作品展示出来るのも最後なので、ちゃんとした作品を作りたいと思いました。毎年今年こそは作品を早く作るっていいながら、一日前とかに完成させてしまっていたので、今年こそ早く作品を完成させるようにしたいです。

3組 ○○○○

○3年生になり、受験が近づいてきたので1つ1つの問題をもっと丁寧にやり、間違い直しにもっと力を入れていけるようにしたいと思っています。勉強時間も一日に少しでも良いから増やしていき、受験に対する心構えをしっかり作っていけるようにしたいです。社会や理科などは、1・2年生の復習をしっかり行い、基礎知識を頭に定着させてから、たくさん問題を解いて応用力を鍛えていきたいです。

体育大会や文化発表会などは勉強と両立し、全力でやり切れるようにしたいです。ダンスなどは、昼休みにも練習したりするなど、積極的に行っていきたいです。こういった行事を全力で行う事により、自分が後になって「あの時こうしていれば良かった」など後悔する事も無く、楽しい中学校生活だったと思いながら卒業することが出来ます。

3年生はいろいろな事にチャレンジしていきたいです。 3組 ○○○○

教育相談ありがとうございました

今日までの4日間の教育相談にお忙しい中、御参加いただきありがとうございました。生徒たちの家庭での様子や進路の件など様々なお話を聞かせていただきました。いただいた御意見等は、今後の指導の参考にさせていただきます。今後も何かございましたら、学校の方に御連絡ください。

24日（水）16:00～修学旅行と進路の保護者会も予定しております。ZOOMでの参加と当日参加出来なかった御家庭には、後日資料を配付予定ですので、ご質問等がありましたら御連絡ください。

○先日発表された「第96回アカデミー賞」で、宮崎駿さん原作・脚本・監督の「君たちはどう生きるか」が長編アニメーション賞を獲得しました。内容は第2次世界大戦中、母親を亡くした少年が、不思議な世界に繰り出す冒険劇です。「君たちはどう生きるか」というタイトルは、吉野源三郎（1899～1981）の書いた小説に由来しています。吉野さん原作の小説は1937年、日中戦争が勃発した時に出版されました。日本が争いの時代へ向かう中で、「人がお互いに良い友達であるようなヒューマニズム」を次の世代に残そうとしました。主人公の『コペル君』の日常と、彼に向けて書いたおじさんの『ノート』で構成されています。宮崎監督は、映画製作にあたり、子どもたちに「この世は生きるに値するんだ」と伝えることが根幹になければならないと語っています。宮崎監督の作品には『生きる』『生きねば』などのキャッチコピーが踊っています。未来に希望を見いだそうとする『生への叫び』を感じます。

仏法では「人間は楽しむために生まれてきた」と説いています。しかし現実には試練に当たり、苦勞をし悩むときもあります。それを乗り越えるために必要なことは「強い心」です。「強い心」を持っていれば負けることはありません。大変な事が起こってもいつかは楽しいことが起こります。ずっと苦しく大変な事ばかりは起きないからです。しかし苦難の先にあるものがより楽しくうれしいものにするためには、それなりの努力をしなければいけませんね。

「やまない雨はない」「夜明けは必ずやってくる」「冬は必ず春となる」です。たくましい楽観主義の考え方で、軌道は良い方向へと修正されていきます。



○シンガーソングライターの さだ まさし さん。先日の道徳で「風に立つライオン」を学習しましたね。その映画や楽曲を作った人です。そのさださんがディナーショーを行った日の事です。会場のホテルにチェックインした時に声をかけられました。「頼みたいことがあるんだ。今少し時間はあるかい？」相手は漫画家の手塚治虫さん（1928～1989）でした。さださんはリハーサル直前だったので「30分ほど後でよろしければ時間はたくさんありますので、お待ちいただけますか」と返しました。手塚さんと都合が合わずやむなくその場で見送りました。ところが一ヶ月半後闘病中だった手塚さんは亡くなられてしまいました。さださんは後悔に襲われました。「頼みたいこと」は何だったのかわからずじまい「すぐに話を伺えば良かった」……。さださんはこの時以来『後でね』を自分に禁じました。

日常で後回しにしていることはありませんか。物事には【その時】があります。一番良いタイミングで行う事で、すごく順調進み良い結果を得られることが多いのですが、そうでない時にしようとする、時間がかかったり思い通りに進まなかったりします。今みんながしなければならないことは何でしょう。優先順位をきちんと付けて、行動できるようにしてください。